

# 一般質問 管原研治議員 2項目を問う



管原研治議員

**問** 医・職・集への積極的な政策は

**答** 要望に沿った検診・3社統合・共同生活の研究

**問** 特色ある教育の導入は

**答** 英語圏での海外研修授業を研究して行きたい

## 医・職・集への積極的政策

**問** 子育て世代の定住化のため、定期的な小児科医の検診導入をすべきではないか。

**答** 小学校入学前まで毎年1回は受診できる体制だが、今後も要望に沿った検診を実施して行きたい。

**問** 町が関わる団体の就労条件の均等化を進めるべき。

**答** 最終的には3つの株式会社を1つの方向で考えて行きたい。ある程度条件整備をしながら実施しなければならぬ。

**問** 独居老人の空き家共同化（シェアハウス）を推進すべき。

**答** 大きな意味で地域がシェアハウスとなっていくが、本町の中でどうい

形で共同生活ができるのか研究させていただきたい。

**問** 旧「道の駅ありや」の公共的な再利用計画は。

**答** 活用の方で協議を継続している。国や県にこだわらず利用を希望する団体があれば積極的に協力して行きたい。

**問** 除雪作業体制の充実化に向けた対応は。

**答** 平成29年度は9名体制で、町道、学校、その他、公共施設の除雪など、住民生活の安定向上に向け鋭意努力している。

**問** ごみ集積所への無分別防止看板の設置は。

**答** 地区からの要望があれば無分別警告看板を設置したい。

## 特色ある教育導入

**問** 実用英語検定の受験料を公費で助成すべきではないか。

**答** 今年度から10月の検定受験を予定し3年生全員が受験。受験料やテキスト代は公費。

**問** 英検3級（中学校卒業程度）の合格者に海外研修導入は。

**答** 英語圏での生活、文化に触れることは重要な経験になる。特色ある教育活動の一環として研究して行きたい。

**問** 小学生にも英検5級などへの挑戦意欲を持たせては。

**答** 学校と協議しながら検討したい。「やれた」「わかった」「できた」を図りたい。

# 一般質問 吉田修議員 2項目を問う



吉田修議員

**問** 有害鳥獣対策強化について

**答** 防御と駆除が必要

**問** 一般家庭の消火器の購入助成について

**答** 助成はそぐわないと考える。

## 有害鳥獣対策強化

**問** 猿、イノシシ被害が深刻になってきている。今年瀬見原の民家までイノシシが来ている。被害がなかった地域でも被害が発生。このままでは電気さくなしでは作物が作れなくなる。増えるサル、イノシシに対し町は様々な鳥獣被害防止策に取り組んでいるが、更なる強化策について伺う。

**答** 対策として、交付金事業を活用したおじろ式電気さく設置。又個人に対し50万円を上限に3分の2の電気さく購入補助金を設けている。狩猟、はこわな免許取得の助成。さる追い払い隊、地域追い払い隊などで6月～11月まで巡回パトロールをしている。

**問** 専念して地域を守るには、駆除費の引き上げと、専従の駆除隊員を増やすべきと思うが。

**答** 駆除費については、各市町の調査をしたい。新たな有資格者が有害駆除隊員に登録し、どのような条件で働いていただけるのか今後打ち合わせをしたい。自分の田畑は自分で守る。防御と駆除を合わせて今後取り組んでまいりたい。

## 一般家庭の消火器

**問** 防災訓練が今年も行われた。緊急を想定した役割分担訓練でした。初期消火訓練も有り消防署指導による消火器での消火がありました。住民の中から消火器買い替えの補助助成をしてもらうと助かるとの声が寄せられました。どこの家庭にも消火器があるが有効期限があり守られているか懸念される。消火器買い替え時の助成が出来るのか伺う。

**答** 以前各地区消防団で消火器の有効期限について調査。期限切れについて消

火器のあっせんをした。全地区で多数の家庭で消火器が更新された。その後も各分団で春、秋の査察時に有効期限を確認して新しい消火器の更新を促している。

平成18年に火災報知機があっせんをしたが、助成はしていない。消火器は有効期限が長く10年程度となっており各家庭の消火器にはらつきがあり助成にはそぐわないと考える。

**問** 消火器は財産を守る大切なものです。町民の中には消火器を買換えたいが後回しになっている方も多いのではと思われる。高額な消火器を売りつける悪徳業者もいる。町や自治会を通じた一括購入等の助成など必要と思うが。

**答** かく家庭の消火器有効期限にばらつきがある。火災災害の認識を新たにする意味でも各家庭で備えて頂きたい。助成はそぐわないと考える。